

# 日本の鍼灸の エビデンス創出にむけて

平成21年度厚生労働科学研究

「漢方・鍼灸を活用した日本型医療の創生」研究

【第2回班会議】科学的根拠の現状と課題  
(エビデンスの創出のために)

2010年1月18日(月)14時~16時

場所:慶應義塾大学 新教育研究棟講堂2

東北大学医学系研究科 先進漢方治療医学講座

関 隆志

# INDEX

- 鍼灸のエビデンスの必要性
- エビデンス創出困難の理由
- 世界の鍼灸のエビデンス
- 乏しい日本の臨床研究
- エビデンス創出に必要な国内体制

# 鍼灸のエビデンスの必要性

- 伝統医学の国際化
  - WHO-ICD
  - ISO (International Organization for Standardization)
- 求められる医療改革
  - 超高齢化社会
  - 医療費増大
  - テイラード・メディスン
  - 全人的な医療
  - 統合医療

# エビデンス創出困難の理由

- プラセボの困難さ：鍼治療・灸治療
- 鍼灸治療の多様性
- 治療（手作業）の定量化・均一化の困難さ

# 世界の鍼灸のエビデンス

- 灸治療のエビデンスは乏しい
- 大規模な鍼治療のエビデンス
- 切羽詰まったドイツ
  - 高齢化社会、大きな国民ニーズ、医療費増大、エビデンスへの希求

# 乏しい日本の臨床研究

- 鍼灸教育
- 医療制度
- 医療機関での鍼灸治療

# 鍼灸教育

- 不十分な鍼灸師教育
  - 病人を治療したことのない鍼灸師
- 皆無に等しい医師教育
  - 鍼灸を知らない医師
  - 鍼灸を理解しない医師
- 既に過密なカリキュラム

# 医療制度

- 医療ではない鍼灸治療
  - 医業類似行為
- 健康保険のきかない鍼灸治療
  - 医療機関で取り入れることが困難

# 医療機関での鍼灸治療

- 鍼灸師が医療機関にいない
- 健康保険がきかない鍼灸治療
  - 無償あるいは自由診療
  - 儲からない鍼灸治療
- 医療従事者は鍼灸を知らない
- 混合診療が認められていない





# エビデンス創出に必要な 国内体制

- 伝統医学振興のための政府機関の創設
  - 「伝統医学で日本の医療を救う」プロジェクト
  - 伝統医学への大きな予算
- 鍼灸教育の拡充
  - 医学部教育：鍼灸を教育する
  - 卒後教育の充実：鍼灸師、医師
- 健康保険の適用